

特別講演会



ドイツと日本

21世紀の課題を克服するための 良きパートナー

日時：
2024年
6月11日（火）
13:00-14:30

会場：
立命館大学
衣笠キャンパス
平井嘉一郎記念図書
館カンファレンスルーム

講演者

Dr. Clemens von Goetze

（駐日ドイツ連邦共和国大使）

1962年3月29日ベルリン生まれ。

エアランゲン大学にて歴史学、法律学を専攻後、同大学にて
法学博士号取得。

1990年、外務省に入省。本省および在外公館で幅広い
職務を経験。連邦大統領府外交局長、本省政務局第3局
局長、駐イスラエル大使、駐中国大使などを経て、2021年
9月より現職。

講演内容：講演はドイツ語で行われますが、通訳が付きます。

I. 日独関係の歴史

1. 友好条約（1861年）、明治時代、第一次・第二次世界大戦
2. ドイツのNATOとEUへの統合、日米同盟
3. G7における協力
4. ルールに基づく国際秩序の重要性

II. さまざまな課題を抱える現在の国際情勢

1. 欧州の平和秩序に対する脅威としてのロシアのウクライナ侵攻
2. 中東情勢
3. インド太平洋：中国と北朝鮮の行動

III. 課題克服のパートナーとしてのドイツと日本

1. 価値観のパートナーとしての日本とドイツ
2. 政治的パートナー
3. 安全保障政策のパートナー
4. 経済パートナー（経済安全保障、貿易、技術）
5. 科学協力
6. 文化

こちらからお申
し込みください



司会：出口雅久

立命館大学法学部教授

主催：立命館大学法学部比較司法
制度研究会

後援：立命館大学国際平和ミュージア
ム・平和教育研究センター

R RITSUMEIKAN